

賢く 優しく 遅しく



志木三小だより

学校運営協議会スローガン「ともに愛そう わがまち わが学校」

志木市立志木第三小学校

令和4年8月29日

志木市柏町3丁目2番1号

TEL 048-471-1062

たたくよりたたえ合おう～本当の優しさとは～

校長 関根 久美子

夏季休業中は、どのように過ごされましたか。ご家族で共通のことに取り組んだり、同じ話題で話をしたり、有意義な家族の時間を過ごされた方もいらっしゃると思います。

2学期が始まるにあたり、お子さんのことなど、不安なこと、学校に相談したいことなどありましたら、ご連絡ください。

さて、テレビで見かけたCMから

コンビニのレジに何人かの人が並んでいます。レジで支払いをしているのは、年配の女性です。最近のコンビニは、とても便利になりました。電子決済もできるので、スマホを持っていれば、なんでも買えるので、以前のように、財布を持っていなくてもよくなりました。ほんの百円ちょっとの飲み物を買うのに、小銭がなくて申し訳ない気持ちで札を差し出すこともなくなりました。

けれども、この電子決済も慣れるまでは、ちょっと戸惑いました。生まれた時からスマホが身近にある、スマホネイティブの世代とは違って、「アプリの画面を出す」のにも「え〜と」と考えることもありました。

先ほどの年配の女性は、何に手間取っているのか、電子決済ならスマホをかざしてほんの何秒で済む会計に時間がかかっています。コンビニは普通のスーパーと違って、ちょっとした飲み物、お菓子、おにぎり、軽食などちょっと買ってさっさと出ていく、という感じです。レジに並んでいる人たちの「イライラ」が伝わってきそうです。さらに、この女性の次に並んでいるのは、「ちょっと怖そうな若いお兄さん」です。「おい、何やってるんだよ。早くしろよ。」なんて言葉が聞こえてきそうです。ところが、このお兄さんが発した言葉は「もしかして焦ってんのかお婆ーさん。誰も怒ってなんかいい アンタのペースでいいんだ 何も気にすんな。自分らしく堂々と生きるんだ」

それを受けてお婆あさんが「迷惑かけてしまってるなって焦ったらまさかの優しい発言。アタシも反省 見た目で判断。もう要らないわ 色眼鏡なんか」と返します。

お判りになったと思いますが、最近、よくテレビやラジオで流れている、ラップを使ったCMです。「みんな違うのは当たり前」「一人一人にリスペクト（尊敬）」と続きます。

自分と違う価値観の人、自分と同じペースで動けない人、いろいろな人が自分たちの周りにはいます。その人たちに「どうして同じにできないの」「なぜそう考えるの」と怒っても、意味のないことです。相手を変えることはできないからです。変わる、変えることができるのは自分の考え方、つまり「自分」です。人間関係の基本は、心から相手を尊敬することです。そして、相手が何を求めているのか「心から寄り添う」ことが大切です。

最後に、この年配の女性が言う言葉も秀逸です。「もう要らないわ 色眼鏡なんか」人は見かけで判断することが多いです。確かに「心の中は何を考えているのかわからないけれど、態度に表れる」というのも正しいことがあります。けれどもやはり、「見かけ」ではなく「態度」ではなく「徹底的に尊敬して」「心から寄り添って」人と接することが人間理解の第一歩です。